

大町病院を守る会会報

No. 36

2014年12月発行

大町病院を守る会

発行責任者北村喜男

先生方ようこそ大町病院へ 心ばかりのキノコ汁で歓迎会

守る会主催で 50 余名が参加



【乾杯発声は井上院長先生】

11月5日夜、大町病院大会議室にて、きのこ鍋による新任医師歓迎会（大町病院を守る会主催）が開催されました。10月より着任された太田久彦医師、青木俊樹医師、鈴木滋医師をはじめ、5月着任の吉岡輝昌医師、研修医の村松尚範医師、藤井一聡医師、内田晃司医師、畑宏樹実習生が参加してくださいました。会議室の机にはピンクのテーブルクロスが敷かれ、美しい会場に大変身！守る会の会員により100人分用意された具だくさんのきのこ汁は、おかわりの連続で完食となりました。

松澤郁子副会長が開会、北村喜男会長の主催者、山田博美管理者の歓迎の挨拶で始まり、それぞれの新任医師より自己紹介と決意が述べられ、時代の先端を行く大町病院のこれからの躍進の展望が窺えました。吉澤副市長や小林市議会議長からもお言葉を頂きました。牛越市長も多忙な公務の最中、会場に足を運んでくださり、守る会の会員で作ったきのこ汁や漬物を食べながら、和やかな親睦交流会となりました。会の途中では「大町ギターマンドリーノ」の生演奏が盛り上がり花を添えました。豪華な食事に心温まる音色。参加者の表情にも自然と笑顔が溢れました。

「美味しかった」キノコ汁は100人分を完食！！

100人分用意したきのこの汁は、おかわり5杯！という先生もいらして、見事に完食！！用意されたオードブルやキノコの天ぷら、ノリマキ、差し入れの紅白の「おこわ」はじめ漬物や果物が並んだ食卓は真心のこもった地場産の食材を使用したものでした。最後は海川副会長の三唄に合わせて、皆で力を合わせ大町病院を守り、発展を祈念し「団結ガンバロー」を行い、幕を閉じました。この出会いを大切に、新しく大町病院の一員となった先生の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



着任し参加された先生方

青木俊樹副院長 吉岡輝昌内科医師 太田久彦事業管理者補佐 鈴木滋口腔外科医師 村松尚範初期研修医 藤井一聡後期研修医 内田晃司初期研修医 畑宏樹泌尿器科実習生（順不同）



太田久彦先生



青木俊樹先生



吉岡輝昌先生



鈴木滋先生



畑宏樹先生



内田晃司先生



藤井一聡先生



村松尚範先生

勤務、出張等諸事情で欠席の着任された先生方

関口健二総合診療医師 篠根理孝整形外科医師 野田俊輔小児科医師

来賓の皆さん

牛越徹市長・吉沢義雄副市長・小林治男市議会議長・二條孝夫副議長・勝野富男社会厚生委員長



参加いただいた皆さん

山田博美事業管理者・井上善博院長・新津義文副院長・高木哲副院長・野口渉泌尿器科部長・清水香代子看護部長・上村美智子4階西病棟師長 西澤ひろみ4階東病棟師長・青木芳薫4階西病棟看護師・柏原南美子4階西病棟看護師・山崎智子4階西病棟看護師・下出玲子診療技術部長・清水あさひ臨床検査技士・北澤一人事務部庶務課長・田中大貴事務部経営企画室・麻田俊一事務部庶務係長・島田愛子事務部医事課長

守る会北村喜男会長・松澤郁子副会長・海川明文副会長・種山博茂事務局長・「塩原義夫・高橋博久」事務局次長ほか「磯貝匡弘・中島節子・酒井芳孝・田中栄一」幹事・「島田元実・中島一郎・太田昭司・堀堅一・神社正幸・磯部雅利・北原裕美・佐藤敦子・柳沢たに江」会員・奥原喜義病院職員労働組合委員長

歓迎演奏 大町ギターマンドリーノの皆さん（7名）



北村喜男会長挨拶（要旨）

本日は大町病院に4月以降着任にいただきました先生方の歓迎会と職員交流会を「守る会」で計画いたしましたところ多くの皆様にご参加をいただき誠にありがとうございます。新しい先生方をお迎えできましたことは「守る会」といたしましても、地域としても大変に喜ばしく有り難く思っております。先生方には私たち「守る会」は大町病院を支え応援していくサポーターのようなものであるとご理解いただければと思います。大北地域の基幹病院として大町病院は益々充実してまいりました。優秀な先生方、職員の皆様方に守られ、地域に住む私たちは安心して暮らすことができます。微力ですが私たち「守る会」のこれからの活動は大町病院の素晴らしさを大いに地域に発信していくことも大切な役割であると考えます。本日はささやかではありますが手作りの歓迎会ということで採れたてのキノコ汁を用意させていただきました。地元の良さを大いに味わっていただければと思います。

差入れをしていただいた皆さん（敬称略）

中島節子：紅白おこわ・漬物　高橋袈裟登：山キノコ・柿　高橋博久：山キノコ・地酒
柳沢たに江：漬物　勝野健一：キャベツ　清水あさひ：大根・人参・白菜・刻み葱

「和気あいあいの歓迎・交流会」



【締めは海川副会長の団結ガンバロウ】⇒

来春の開花がたのしみ花壇の剪定と球根植え

守る会は10月26日午前9時から10時半まで病院の花壇の手入れを行いました。玄関西側の花壇には植え木の下枝を剪定し、チューリップと水仙の球根を植えました。また、ロータリーの周りにおかれていたプランターを冬に備えて撤去しました。

その後、11月2日にはアジサイ、クレマチス、ネモフィラ、コンパクトオリエンタル百合等を植え付けました。来春をお楽しみに。参加者は磯部雅利、古川孝雄、中島一郎、島田元実、丸山令江子、矢口静人、小林千恵子、塩原義夫、高橋博久、松澤郁子、北村喜男の皆さんでした。





【病院花壇に球根を植える】



【こちらには球根とモネフィラを】



【会長を先頭に会員が作業】



【作業が終わってお茶会】

建設進む災害時多数傷病者受け入れ施設 工事のためイルミネーション今年はお休み

東病棟南側に災害時多数傷病者受け入れ施設が建設中です。鉄骨造り2階建、南北18m、東西42m、1600平方メートルで、受け入れ施設のほか、内視鏡室、食堂、災害対策本部、健診センター、渡り廊下等が設置予定です。本体は3億2千万円、機械9千万円、電気7千万円の予算で進められています。11月22日の大地震災害の経験からも一日も早い完成が望まれます。

工事は南側駐車場全面で行われているため、これまで行って参りました守る会のもみの木へのイルミネーションの点灯は残念ですが今シーズンは中止となります。



マグニチュード 6.7 一日も早い復興を祈る

白馬・小谷・大町(美麻)に大きな被害

大町総合病院が負傷者を受け入れ、防災訓練の成果示す

11月22日午後10時8分、小谷村～白馬村を震源とするマグニチュード6.7の地震が発生しました。最大震度は小谷村6弱、白馬村5強、大町市5弱で家屋80棟倒壊(白馬村)をはじめ、各地で道路が不通となり、負傷者も多数でした。お見舞い申し上げます。

地震発生直後から大北広域消防や自衛隊が出動し暗闇の中で捜索や救出活動を始めました。

大町病院では地震直後から医師はじめ職員が続々と登院し、患者の受け入れ態勢を確保しました。

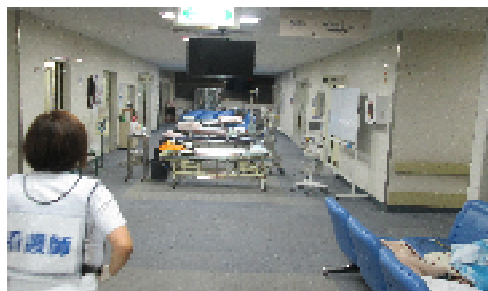
これまで大町病院は大北地域の災害拠点病院として防災訓練を実施、3年前からは実戦さながらのトリアージ訓練を実施し、いざという時に備えてきました。



大町病院へ20数名を受け入れる

対策本部が2階大会議室におかれると同時に、病院玄関では救急車で運ばれてくる負傷者をトリアージポストで仕分けし、搬送係がトリアージエリアに送り届けます。トリアージエリアは内科前、救急外来、整形外科にかけての待合室が臨時的処置スペースに整備、臨時ベットが置かれ、仕分けされた患者に治療が施されました。対応に当たっては大町病院の医師はもちろん県下各地のDMAT10チームと、県外から新潟市民病院のDMATチームが応援に駆け付け、DMAT本部が2階大会議室の一角に設けられ対応にあたりました。

職員も震度5以上の地震に対しては全員が病院への登院を義務付けられています。連絡など受けずに自主判断で登院し業務にあたりました。医師、職員の使命感・責任感に支えられ、団結力とチームワーク



の良さでスムーズに対応できました。これは日頃の訓練と検討会などの成果によるもので大いに評価されます。震災負傷者への対応が一段落した翌23日午後2時25分、災害対策本部は解散し、職員は平常体制に戻りました。

市民は市立大町総合病院の対応に感謝と安心

災害拠点病院は大北地域では市立大町総合病院だけで、他病院では受け入れ態勢がありません。その大町病院の優秀なスタッフが訓練と、それによって得た経験をもとに緻密なシュミレーションを実践に移しました。その結果、極めてスムーズな対応ができました。市民は安堵と感謝の気持ちであふれています。



病院フェイスブックに掲載された投稿を見ると・・・

☆高木哲先生

昨夜の長野県北部の地震では、当院は最も被害の大きかった白馬村の直近の災害拠点病院として、迅速に災害対策本部を立ち上げ、トリアージエリアを新設し、DMATの参集拠点病院となり、傷病者の受け入れ、治療にあたりました。20数名の患者が来院し、各トリアージエリアで治療を行い、うち5名ほどが当院に入院、2名を搬送しました。今年は県の防災訓練が大町市で行われる予定で、行政、消防、病院をあげて準備や訓練をしていましたが、御嶽山の噴火で中止となっていました。その際は当院からもDMAT2隊が出動しましたが、今度はこの地域が被災地となり、当院がDMATを受け入れるという事態になったのです。訓練してきたことを、まさかこのような形で実践として行うことになるとは夢にも思いませんでした。今回うまくいかなかった点についてはしっかり反省し、今後に活かしていきたいと思います。迅速に参集し活動してくれた職員のみなさん、DMATのみなさん、消防のみなさん、その他関係者のみなさん、本当にありがとうございました。

☆看護師Fさん

震度5以上は自主登院！とあり、何も連絡せずとも多くの看護師が集まりました。その後もスムーズに多数傷病者受け入れ準備と対応ができました。皆のいざというときの力は凄いなと思いました。新設エリア指揮所をやっていて涙がでるほど嬉しくなりました。ありがとうございました



連合自治会の役員の方々と懇談 地域懇談会と医師講演会開催を要請

10月7日、市連合自治会役員と、大町病院・守る会は連合自治会定例視察の機会をとらえ、病院大会議室で懇談会を持ちました。病院では現在建設が進められている災害時多数傷病者受け入れ施設建設現場と院内視察を行い懇談しました。院内視察では最近新調された最新鋭のMRIも視察しました。懇談会では、病院医師の講演会と懇談会をセットで各自治会ごとに行きたいのでその受け入れをお願いしました。また守る会活動のこれまでの取り組みをパワーポイントで説明し協力も要請しました。



【更新された最新式のMRI】



【建設進む災害時多数傷病者受け入れ施設】



【病院・守る会と懇談する連合自治会の役員の方々と】

大町病院では、市内の全戸に対し病院に関するアンケート調査を実施して居ります。12月31日締め切りで、返信用封筒に入れ投函してください。守る会会員の皆さん積極的にアンケートの回答に協力してください。

守る会会費納入のお願い 近日中に役員がお宅にお伺いし、26年度分の会費をお願いに上がります。よろしくお願ひします。なお、封筒に氏名、住所を記名の上大町病院医事課、麻田係長・高橋（健）主任に預けていただいても結構です。問い合わせは高橋事務局次長携帯電話 090-4054-2747 まで。

インターネットに会報が掲載されています。御覧ください。

守る会会報1号から35号までがインターネット上に掲載されています。市立大町総合病院ホームページの右側下段の「病院を守る会」バナーをクリック、または「市立大町総合病院を守る会」で検索してみてください。会報がカラー写真で掲載されています。

